

森の資源を活かして使う、 地域材活用事業

ひろげる助成

3年目

実践

森とつながる
フォーラムの会員 **132人(団体)**

市内小学校の
学習机天板の取付 **300枚**

今年度計画の達成度 **80%**

目標達成度 **90%**



小学校での学習机の天板交換と環境教育

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

- 広葉樹は県内の木材市場で扱われていないため、相模原産の調達が困難であった
- 学習机天板は習字等の汚れが激しく、学校側のメンテナンスも難しかった

■工夫した点

- 広葉樹原木の調達を林業関係者だけでなく、市役所の関連部門にも広げて依頼し調達した
- 天板仕上をオイル塗装からガラス塗装にしてメンテナンスフリーを目指した

課題

貴重な市内の森林や木材資源について住民の理解や意識を高めていくための組織体制や、間伐材の効率的な搬出を促進して加工・流通する仕組みの構築が不可欠である。

目標

地域で木材利用に関わる事業者や団体、行政が連携することにより、森林資源のサプライチェーンが生まれ、森林資源の活用が進む。

活動内容と成果

- 森に関わる団体、事業者、行政のパートナーシップによる「森とつながるフォーラム相模原」を運営し、会員が132人となり森林の保全、木材の利活用、環境教育を進めた
- 森林保全活動を行うボランティア団体などが間伐する木材の搬出技術の指導及び搬出の支援を行い、ボランティア団体と林業者との連携が進んだ
- 搬出した間伐材を活用し、市内小学校の教室機の天板200枚を製作した。天板は市内小学校へ運搬し、取り付け、環境教育を実施した



森とつながるフォーラム相模原のイベント



ポータブルウィンチによる丸太の集材指導会

全助成期間の活動を振り返って

森とつながるフォーラムの参加者が増加し、森に関わる団体、事業者、行政とのパートナーシップも進んだ。また、森林ボランティア団体の中には森林整備だけでなく木材搬出と利用を検討・実施する団体もあり活動が広がっている。最も大きな成果は、教室機の広葉樹天板の交換と環境教育が市の事業として採用され、市内の全小学校を対象に進められるようになったことである。

活動地域 | 神奈川県

〒252-0171 神奈川県相模原市緑区与瀬269

電話：042-649-0422

E-mail: ecoshop@econano-club.jp

https://morimo.amebaownd.com/



今後の
展望

相模原市には針葉樹と広葉樹がほぼ半分づつ分布するので、針葉樹の利用も進める必要がある。広葉樹の天板製造で培った技術を使って針葉樹の天板等の用途開発も進めたい。また、幼児期から木育を進める必要があるなので、木製玩具等の開発・製造・普及も取り組みたい。そのためにデザイナーを含む関係者とのコラボを進め、パートナーシップをさらに広げていきたい。一方、森林と木材に関する啓発活動も継続していきたい。